地域・家庭・学校を結ぶ学校だより

高 台

https://www.ota-school.ed.jp/magomehigashi-js

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
Member of UNESCO Associated Schools

令和８年９月１日
令和８年度第５号
大田区立馬込東中学校

大切なことは目に見えない

校長　藤田 裕一

生徒の皆さんは、「星の王子さま」という本を読んだことはありますか。フランスのサン=テグジュベリという作家が1943年に書いた子供向けの小説です。子供向けの本ですが、私のような大人でも考えさせられることがテーマになっています。

主人公は飛行機の操縦士で、サハラ砂漠の真ん中に不時着することになります。そこでほかの星からやってきた王子さまと出会い、交流をする物語です。王子さまは自分が生まれた星のこと、これまでに訪問してきた星のこと、それらの星で経験したことなどを主人公に話します。

王子さまは「大切なことは目に見えないんだよ。心で見なくちゃ物事はよく見えない。」というようなことを主人公に言います。この発言がこの小説のテーマになっています。物語の詳しい内容は、自分で本を手に取って読んでみてください。学校の図書館や大田区内の図書館で借りることができます。

さて、私はこの「星の王子さま」を読み、「大切なことは目に見えない」ということが学校生活の様々な場面で見られると思いました。学校生活を送る上で、私たちは周りの人たちの気持ちを慎重に考えて発言したり行動したりする必要があります。

例えば、勉強でも行事でも前向きな気持ちで取り組んでいる人たちは、一見すると前向きに取り組んでいるように見えない人を見て、「もっと頑張って！」と強く言ったり、「なぜ一生懸命にやらないの？」などと簡単に批判したりしてしまう場合があります。でも、言われた人は自分なりの考えをもち、その人なりに一生懸命努力しているのかもしれません。形として表れていなくても、その人の中では努力をしていることがあり、それが周りの人には見えない場合があるのです。周りの人は単にその人を批判するのではなく、相手の気持ちを推察しながら「この場合はもっとこうした方がいいと思うよ」などと具体的に優しく声をかけてあげて、一緒に前へ進めるようアドバイスしてあげることができれば、それは素晴らしいことだと私は思います。

また、ほとんどの人が気付かない些細（ささい）なことに注意を払い、人知れず学校生活の役に立っている人もいます。例えば、誰にも言わず落ちているゴミを拾って捨てたり、掃除の時に見えにくい部分を水拭きしたりする人がいます。

現代社会に生きる私たちは、目に見えるものだけに注目し、結果や数値のみを重要視している風潮が感じられます。その典型が高校などの入試に関する試験の得点や通知表の成績と言えるでしょう。実際に、試験の得点や通知表の成績によって合格できるかどうかが決まる場合が多いのでそれらは重要です。

しかしそれだけを追い求めすぎてしまうと、私たちは大切なものを見失い、目に見えない多くのものに支えられていることに気付けなくなってしまいます。正しくものを見ているつもりでも、自分にとって得か損かという自分勝手な見方になってしまいます。

２学期もたくさんの行事があり、毎日の授業が行われます。馬込東中学校の生徒の皆さんには、目に見えることだけにとらわれず、想像力を働かし心で物事を見て、自分も周りもみんなが前向きに生活を送ることができるような行動をとれる人間になってほしいと願っています。そのことが、学校目標の一つである「礼儀正しく心豊かな生徒」につながると思います。２学期も全生徒が楽しく前向きな気持ちで過ごせる学校生活を皆さんでつくっていきましょう。

【９月１日始業式 校長講話を一部改変】

◎教員の異動について◎

１学年副担任（数学）の山本佑教諭（テニス部顧問）ですが、９月１日付で東蒲中学校へ異動することになりました。

＜地域防災訓練＞

7月４日(土）の学校公開日に大田区馬込特別出張所に協力していただき、地域防災訓練を１年生と実施しました。最初動画視聴をし、意識付けをした後に、各クラスに分かれ、大森消防署馬込出張所、消防団、町会の方々より丁寧に教えていただきながら訓練を行いました。初期消火・通報、搬送法・救助資材の説明、応急処理（心肺蘇生）の３つに分かれて訓練を実施しました。皆、真剣に取り組んでいました。災害が発生した場合は、中学生は大きな力になり復興のための大きな役割を担うことになります。そのためにも日常から、地域貢献する気持ちが大切だと思います。





＜生徒会主催「アルミ缶回収運動」＞




本校は、平成 27 年 4 月 23 日にユネスコスクールに加盟が認可され、持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）を推進していきます。持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ：Education for Sustainable Development）は、私たちとその子孫たちが、この地球で生きていくことを困難にするような問題について考え、立ち向かい、解決するための学びです。アルミ缶回収運動を主軸とする環境教育、防災教育、国際理解教育等の分野にとどまらず、広く多角的・総合的に取り組み、持続可能な社会の担い手を育む教育を推進していきます。

今年度最初のアルミ缶回収運動が７月４日(土)に行われました。この日は約５０名のボランティアの生徒が集まり、生徒会本部役員が仕事を分担して活動がスタートしました。本校の玄関前広場にて、アルミ缶を自分の足やアルミ缶潰し機（通称「カバちゃん」）で薄くつぶしかさばらないようにしてから、回収用の収納ネットに収納する作業を行います。この空き缶潰しは、缶に残った飲料の臭気が漂い独特の匂いがしますが、無心でアルミ缶を潰す生徒の顔はみんな輝いています。作業をやり終えた生徒達の表情は、みな達成感で満ち溢れていました。

＜まひがしフェスタ開催＞

８月 22 日（土）に開校 70 周年イベントとして「まひがしフェスタ」を開催しました。午前中、体育館では有志生徒たちによる舞台発表が行われ、吹奏楽部による演奏、ピアノ演奏、コント、ダンス、バンド演奏が披露されました。また、生徒会によるミニゲームコーナーや部活動小学生体験（吹奏楽部、バドミントン部、バスケットボール部、美術部）が行われ、多くのお子さんに参加をしていただきました。また、寄せ書きコーナー・思い出ボックスには、70 周年を迎える本校へのメッセージや学校生活での楽しいエピソードを寄せていただきました。そして校庭では、PTA や町会などの地域の皆様方による様々な模擬店が開かれ大好評でした。「あの日、この丘から」と称した昔の写真を展示したコーナーでは、昭和初期から現在までの地域の風景や学校の様子が撮影された写真が展示されました。当日は 1000 人を大きく超える来場者があり、本校の生徒もボランティアとして準備・運営・片付けや模擬店補助などで活躍しました。まひがしフェスタを支えてくださった多くの関係者の皆様、PTA や地域の皆さま、本当にありがとうございました。10 月 10 日（土）の周年行事も近づいて参りました。引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

